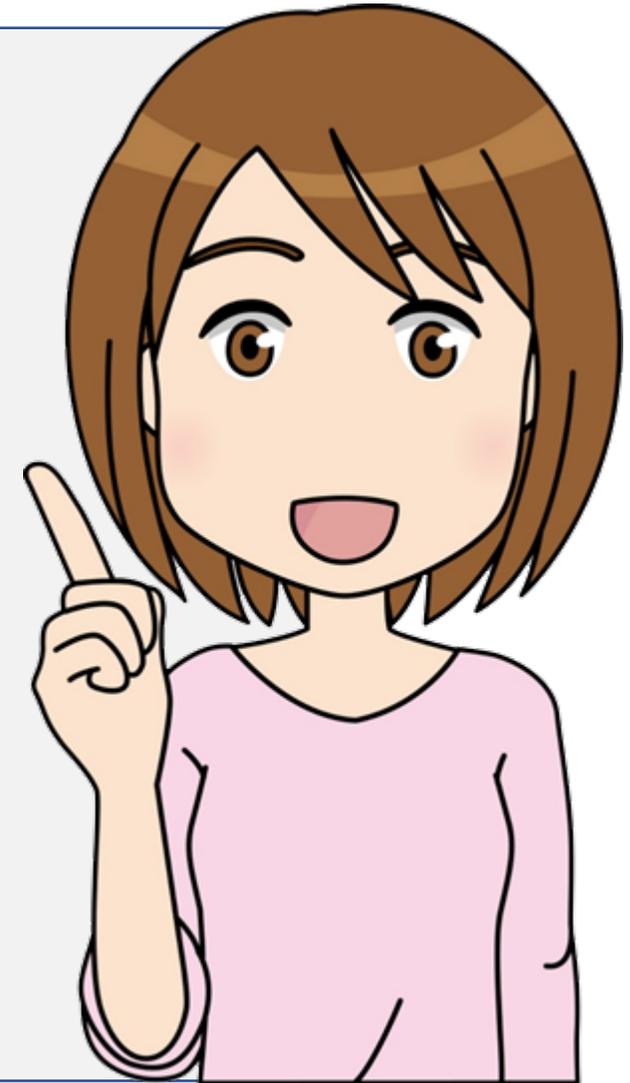


Wordpress活用法の教科書⑦

WordPressのテーマについて①

テーマのついて仕組みを学んで行きましょう！
また、オリジナルテーマ作成に必要な
内容を把握していきましょう。

- ・インストールされている場所について
- ・PHPの基本的な作法として
- ・必要最低限の構造として
- ・Style.cssに記述する
- ・テンプレート階層について
- ・ワードプレスの独自タグ



インストールされている場所について

まずは、ファイル階層の位置関係を把握しておきましょう。

FTPのWordPressをインストールした階層より



/wp-content/themes/

ギョ!

っとした説明です。

- 使いまわしの効率を上げるのには、出来るだけ「themes」にまとめておきましょう。
- 逆に、お客さんに編集をさせたくない場合は、これ以外の場所にファイルを作成してみましょう。
- ファイル名の重複がおこりやすいので、管理とバックアップは要注意！

検索ワード

wordpress オリジナルテーマ作成

PHPの基本的な作法として

「<?php ~ ?>」 がphpの基本構文です。
プログラムの終了には必ずセミコロン「;」になります。
拡張子は、「.php」になります。



っとした説明です。

- wordpressはphpを基本として作られています。
- 動的プログラム、サーバサイドプログラム「php」を使って利用しています。
- サーバサイドプログラムなので「Javascript」と違いブラウザでコードを確認出来ません。

必要最低限の構造として

index.php

全てのテンプレート階層の元になる

style.css

テーマの情報を入力する場所



っとした説明です。

◇ screenshot.png(gif jpg)

・ 管理画面のテーマの画像になる

・ 最低限の構造として「index.php」と「style.css」があればwordpressは成立します。

・ 立ち上げ準備中やサイト移転の状態であればこれでもよいかもしれません。

・ 「index.php」の注意点はこのファイル名は重複する可能性が高いので管理に気を付けましょう。

検索ワード

wordpress オリジナルテーマ作成

Style.cssに記述する

Style.css

WordPressは「style.css」のコメントアウト部分を見てテーマの情報を読み取るため、オリジナルテーマの情報はここに記述します。

必須項目は「Theme Name」だけです。

```
/*  
Theme Name: sample  
Theme URI: /www/sample_test/wp-content/themes  
Description: 専用テーマ名  
Version: 1.0  
Author: xxxxx  
Author URI: http://samples.sakura.ne.jp/sample_test/  
*/
```

検索ワード

wordpress style.css テーマ情報

インクルードを活用する方法

インクルードのタグ及びファイル

- header.php
<?php get_header(); ?>
- footer.php
<?php get_footer(); ?>
- sidebar.php
<?php get_sidebar(); ?>

自作テンプレート（例：sample.php）

```
<?php get_template_part('sample'); ?>
```

Sampleの部分をファイル名に変更します。



っとした説明です。

- 共通部分のファイルは決められているファイル名になります。
- それ以外のファイル名を使用したい場合は自作テンプレートを利用してみてください。
- タグだけあって、使わない場合は「デフォルト」の内容が表示されます。

検索ワード

wordpress インクルード

テンプレート階層について

例えば

home.php
・トップページ

single.php
・投稿ページ

category.php
・カテゴリー別のページ一覧

404.php
・エラーページ

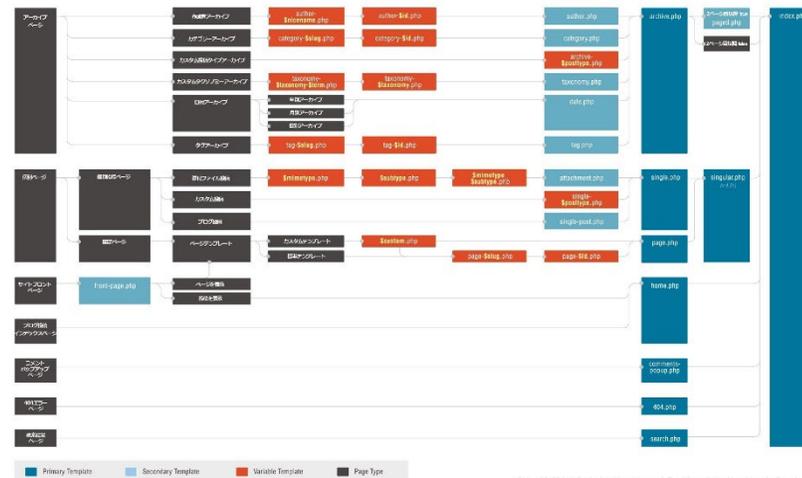
page.php
・固定ページ

tag.php
・タグ別のページ一覧

search.php
・検索結果ページ

archive.php
・アーカイブ毎のページ

date.php
・日付別のページ一覧



っとした説明です。

- ・全ての元は「index.php」になります。
- ・そのファイルがない場合は「index.php」になります。
- ・必要なファイルだけをうまく使ってコンパクトにまとめるのが運用のポイントかと思います。

検索ワード

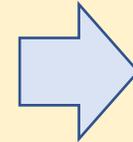
wordpress テンプレート階層

ワードプレスの独自タグ

WordPressテンプレートタグは、数多くあり全て覚えるのは困難。まずはよく利用するテンプレートタグを覚えれば問題なく作業出来るはずです。

例として：

```
<meta charset="<?php bloginfo( 'charset' ); ?>">
```



ブラウザで確認すると

```
<meta charset="UTF-8">
```



っとした説明です。

- 基本的に使わなくても大丈夫ですがうまく使えると便利です。
- テンプレートの使いまわし、サーバー移転には便利です。
- 条件分岐を使えばより便利です。

検索ワード

ワードプレスの独自タグ

よく利用するテンプレートタグ (1)

文字コード

```
<meta charset="<?php bloginfo( 'charset' ); ?>">
```

言語設定

```
<html <?php language_attributes(); ?>>
```

タイトルの設定

```
<title><?php wp_title( ' | ', true, 'right' ); ?>  
<?php bloginfo( 'name' ); ?></title>
```

スタイルシートを読み込む

```
<link href="<?php echo get_stylesheet_uri(); ?>" rel="stylesheet">
```

テーマファイルまでのパスを読み込む

```
<?php echo get_template_directory_uri(); ?>
```

サイトタイトルを読み込む

```
<?php wp_title(); ?>
```

管理画面のキャッチフレーズ

```
<?php bloginfo( 'description' ); ?>
```

記事のパーマリンク

```
<?php the_permalink(); ?>
```

よく利用するテンプレートタグ (2)

説明文 + カスタムフィールド
※管理画面のキャッチフレーズ

```
<?php if ( $post->my_description ): ?>  
<meta name="description" content="<?php echo esc_attr( $post->my_description ); ?>">  
<?php else: ?>  
<meta name="description" content="<?php bloginfo('description'); ?>">  
<?php endif; ?>
```

キーワード + カスタムフィールド

```
<?php if ( $post->my_keywords ): ?>  
<meta name="keywords" content="<?php echo esc_attr( $post->my_keywords ); ?>">  
<?php else: ?>  
<meta name="keywords" content="Sample,サンプル,ダウンロード">  
<?php endif; ?>
```

よく利用するテンプレートタグ (3)

<<<これ抜けているとプラグイン、悪ければテーマも動きません。>>>

※必ず入れましょう！

head内の情報

```
<?php wp_head(); ?>
```

管理ツールバー

```
<?php wp_footer(); ?>
```

よく利用するテンプレートタグ (4)

記事のパーマリンク	<code><?php the_permalink();?></code>
記事タイトル	<code><?php the_title(); ?></code>
記事内容	<code><?php the_content(); ?></code>
カテゴリ	<code><?php the_category(','); ?></code>
投稿時間	<code><?php echo get_the_date(); ?></code> <code><?php the_time(); ?></code>
アイキャッチ画像	<code><?php the_post_thumbnail(); ?></code>